

『平成28年度 水道担当者研修会』を開催しました

例年6月～7月に島根県内各地において、水道担当者研修会を開催しています。これまでに実施した各研修会や水道担当者連絡会のアンケート調査では、初心者向け研修会を年度当初に開催して欲しいとの要望が多数あったことから、今年度は4月26日（火）に東部地区研修会を環境保健公社（松江）、5月12日（木）に西部地区研修会を益田市立市民学習センターで開催しました。

「水道水質基準と水質検査計画について」、「採水の方法（DVD）と注意点」、「水質検査結果書の見かた」の3点を主な内容とし、説明をおこないました。それぞれの会場で、近隣市町村等から水道担当者、約20名の計40名の皆さんに参加して頂きました。



4月26日（環境保健公社）。4月から新たに担当になった方に、多くのご参加をいただきました。



「水道水質基準と水質検査計画について」、現在の水質基準、採水の注意点等について説明しました。



検査方法・測定機器は、検査項目によっても異なります。施設見学を行い、採水後の水をどのように検査しているのかを説明しました。



これはホルムアルデヒド等を前処理後（溶媒抽出－誘導体化）に測定する、ガスクロマトグラフ質量分析計です。



5月12日（益田市）も、約20名の参加をいただき、水質基準等について同様に説明しました。



採水の方法（DVD）を見ていただきました。いつでも確認していただけるよう、各水道事業体にDVDを配布しています。



DVDを見た後に、よく起こる採水ミスの事例、注意点等について、容器を用いて改めて説明しました。



「色度：5度、濁度：2度」の基準値程度の委託実試料と、「色度：<0.5度、濁度：<0.1度」の水道水を、比較確認していただきました。

水質検査計画への質問、検査方法・測定機器への関心や、後日水質検査計画の修正のお問い合わせをいただくなど、水質管理業務等に携わる皆さんの熱意が感じられる研修会となりました。

今回の研修会でも、アンケート調査を実施したところ、「定期的で開催してほしい」、「基準項目の説明については化学の知識があまりない担当者や初級者には少し難しい」、「検査についてももう少し詳しく聞きたい」、「中級編も考えてほしい」等の意見をいただいています。これらの意見を参考にし、今後もより充実した研修会を開催していきたいと考えています。

松江だけでなく県内各地にて研修会等を開催し、市町村単独での研修会や講師の派遣も行います。ご要望がございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。